

# またひとつ謎は解明されました

「春と言えば情報処理技術者試験ですね。 <http://www.jitec.jp/index.html> を見てみたらなんかデザインが変わっています。これは早速チェックしてみなくてはいいけませんね」

「？ なぜ？ 別にデザインなんてどうでもいい！ それより肝心の試験はあるのですか？ もうなんかセキュリティ甘いからやめになったのですか？」

「やります。まだ申し込みます。郵便局には2004/02/06(金)の16時までに突入しましょう。16時超えたら多分受け付けてもらえません。さらに言うところ窓口で手続きを行わず、自動払込機を使用した場合は無効とか、そもそも届かないみたいですので気をつけましょう」

「げっ！！ 郵便局は終わってしまったー！ という時はもう駄目ですか・・・いや、団体申請できるのでそれならば！」

「いや、それでも締め切りは一緒。それよりもWeb申請の方法がまだ可能性があります。これなら本人名義のクレジットカード必須ですが、2004/02/12(木)18:00まで大丈夫ですが、18:00までに作業を全部終了しておかないといけませんよ」

「では、そうします。さて、なにを受けようかな。ボーダーラインが低い試験がいいです。受かりたいのです」

「毎度のことですが、春はシステム監査技術者試験、テクニカルエンジニア(データベース)試験、テクニカルエンジニア(システム管理)試験、テクニカルエンジニア(エンベデッドシステム)試験、ソフトウェア開発技術者試験、初級システムアドミニストレータ試験、基本情報技術者試験が行われます。簡単なのは初級システムアドミニストレータ試験、基本情報技術者試験といったところですよ」

「わたしは寝坊さんなので午後からの試験だけでいいのはありますか？」

「残念ながら今回の試験ではそれはありません秋のシステムアナリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、アプリケーションエンジニア試験なら条件付で午前試験が免除になります」

「うん！ それにしよう！ 秋まで待ちます。で条件は？」

「春に行われるソフトウェア開発技術者試験に合格しておくことです。2年間は有効です。あるいはシステムアナリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、アプリケーションエンジニア試験のどれかに合格しておくとその中の他の試験の午前試験が免除になります。これは1年だけ有効」

「むー！」

「ソフトウェア開発技術者試験を受ければいいわけですね。受けましょう」

「むー！ 仕方ないなー受けるかー。簡単ですか？」

「初級システムアドミニストレータ試験、基本情報技術者試験の次くらいです。」

秋の情報セキュリティアドミニストレータよりは簡単っはいです」

「でも、これって午前と午後Ⅰと午後Ⅱを受けなくてはいいから大変。全部で合格しないとだめ？」

「だめ。以前まではその合格基準は謎に包まれていましたが、今回から合格基準についての内容が明らかにされました。このページをご覧ください。」

[http://www.jitec.jp/1\\_00topic/topic\\_20040116.html](http://www.jitec.jp/1_00topic/topic_20040116.html)

「なんと！ 7割合えばいいんじゃないんだ！ しかも午前午後ⅠⅡそれぞれで合格レベルに達していないと合格できないなんて・・・」

	午前	午後		備考
基本情報技術者、 初級システムアドミニストレータ	スコア600	スコア600		午前、午後試験ともに合格基準を満たす場合、合格。 スコアの範囲は、最低200～最高800。
	午前	午後Ⅰ	午後Ⅱ	備考
ソフトウェア開発技術者、テクニカルエンジニア(ネットワーク、データベース、エンベデッドシステム)、情報セキュリティアドミニストレータ	スコア600	スコア600	スコア600	午前、午後ⅠⅡ試験ともに合格基準を満たす場合、合格。 スコアの範囲は、最低200～最高800。
システムアナリスト、プロジェクトマネージャ、アプリケーションエンジニア、テクニカルエンジニア(システム管理)、上級システムアドミニストレータ、システム監査技術者	スコア600	スコア600	評価A	午前、午後ⅠⅡ試験ともに合格基準を満たす場合、合格。 スコアの範囲は、最低200～最高800。 評価の範囲はA～D。

「スコア600をそれぞれとればいいわけで、論文試験の場合は評価Aをいただかないと合格できません。つまり午前で点数稼いで午後に戻す、みたいなことはできないのです」

「つまり、全部ちゃんとできるようになっておけということか。ところでスコア

ってなに？ なぜ200から800なの？ 白紙答案でも200？」

「項目応答理論というテスト理論に基づいて各回答、回答群(設問ごとなど)で正解不正解の状況を分析してスコアを割り振るものです。単純に各設問に配点があるわけではなくて解答の傾向も見て、スコアを出すものです。白紙でも200になります。基本的に統計をとってこの問題はこの分野のこのレベルの人には答えられる、というようなことがわかった上で毎回同じレベルの試験問題が作成されます」

「つまりどういうことですか？ 同じ数だけ正答したとしてもどの問題で正答したかによって点数が変わるなら、それは単にむづかしいレベルにはたくさん配点されていただけなのと変わらないような気がします」

「それは単に各回答個々にしか見ていない。全体の正答と誤答の傾向が統計的に取得しておいた各レベル受験者の正答と誤答の傾向と比べ、どれに近いかを判断してその人のレベル、つまりスコアを算出します」

「統計はいつ取ったのですか？」

「多分、これまでの情報処理技術者試験でしょう」

「うーん、ということはこれまでの合格者っぽい傾向で正答をしてれば、合格するということですか？」

「そう、多少正答数が少なくても合格基準以上の傾向を示す回答をしていれば、合格となるということです」

「合格基準以上の傾向か・・・」

「午前だと65%以上の正答率でスコア600点が出始めます。ただし75%くらいの正答率でもスコア600点にならない場合もあります。ただやはり70%くらいの正答率で合格基準に達しているみたいですね」

「200から800のうちの600以上だからって2/3できていればいってわけじゃないんだ。頑張ろう」

「なお、今回から、全ての区分に於いて試験結果、スコアの参照ができるようになりました。ただし、初級システムアドミニストレータ試験、基本情報技術者試験以外は午前から採点してって、合格基準に達しなくなったら以降の採点は行われません」

「えー、じゃあ一所懸命書いたわたしの論文はどうなるのですか！」

「ってソフトウェア開発技術者試験は論文ではないですが、せつかくなんだから採点してもらえるように午前や午後Ⅰの勉強も頑張りましょう。午前や午後Ⅰは過去問とか日々の研鑽をやっておけば取り立てて勉強する必要はありません。午後Ⅱに向けてしっかり対策を立てましょう」

「ふむふむ、日々の研鑽だな、あいわかった」

「今から申し込んでも十分間に合いますね。試験は2004/04/18(日)です。ぎりぎり申し込みだと受験希望地がいっぱいの場合隣接地になってしまいます」

「ふーん、でももう仕方ないし、これから張り切って申し込もう。遠くだと朝早く出発しなくちゃいけないけど、寝坊さんだけど、まあいいや。秋は午後から受けるぞー！」

「というわけでHPをチェックしましょうね」

「む！ これは！」

「？」

「独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に試験センターが吸収されている。そのうちなくなってしまうのでは！」

「なくなりません」

「もしや独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に入ったので試験内容が変わるとか！」

「わかりません」

「そっか、安心安心、いつもどおり受験しましょう。ちと残念」

「どう残念なんだろう？」

「簡単にはならなさそう・・・」

「そのかわり試験レベルのばらつきがないので難しくもなりません」

「・・・つまり、合格基準以上の傾向になろう！ ということだ！ どうするかはわからない」

「日々研鑽って言ってたじゃない」

「寝坊さんなので・・・」

「それとこれとは関係ない」

おわり